**精神保健福祉専門研修会**

**三重県こころの健康センター・三重県精神保健福祉士協会共催**

　支援者が被災者や犯罪の被害を受けた方などと関わるとき、どのように声をかけたり、何に気をつけて接したらよいのでしょうか。

今回の研修会では、**「WHO版　サイコロジカル・ファーストエイド（ＰＦＡ）」**を取り上げます。こころのケガを負った方が現状以上のダメージを受けることのないように配慮しながら、回復を手助けする方法を学んでいただけます。精神保健医療に関する特別な知識や準備は必要ありません。皆さん、是非ご参加ください。

**WHO版　心理的応急処置**

**「サイコロジカル・ファーストエイド（PFA）」を知る」**

**講　師**国立精神・神経医療研究センター

災害時こころの情報支援センター 研究員

　　　　　　　　　　**氏**

日　時　**平成28年1月15日（金）**13:30～16:00（受付13:00～）

場　所　三重県津庁舎　6階　大会議室（津市桜橋3丁目446-34）

定　員　90名

対　象　市町、保健所、精神科病院、精神科クリニック、障がい者相談支援事業所、障がい福祉サービス事業所（施設）、地域包括支援センター、その他こころの健康危機管理業務に従事する者



**★ＰＦＡとは★**

　Psychological　First　Aidは、**“心理学的応急処置”**と訳されます。誰もが安全なかたちで、こころのケアを提供することを目的にＷＨＯ（世界保健機関）アメリカ国立子どもトラウマティックストレス・ネットワーク等によってつくられました。

被災者が現状以上の心理的ダメージを受けることを防ぎ、安全なサポートを提供するか、同じ人間として行う支持的な（ささえる、うけとめる）対応のことです。

それぞれの専門、立場、経験、現場のニーズに応じて、必要な部分だけを取り出して学んだり、使うこともできます。少しの知識があれば誰でもできる、こころのケガの回復を助けるための基本的な方法であり、精神保健福祉の専門家はもちろん、災害や事故の現場で働く可能性のある一般の方々にも知っていただきたい方法です。

**★ＷＨＯ版　ＰＦＡ**（Psychological　First　Aid）**心理的応急処置**とは**★**

　支援者が共通して身につけておくべき心構えと対応をまとめたものです。こころのケガを負った方が二次被害を受けないようにするための関わり方や、尊厳を守り文化に配慮しながら支援するための枠組みが示されています。また、支援を行うために支援者自身のケアも重要視されています。ＷＨＯ（世界保健機関）版は、幅広い職種の支援者や一般の方に普及しやすく作られているという特徴があります。

＜申込期限＞　平成28年1月6日（水）

＜申込方法＞　裏面のＦＡＸ送信票にてお申込みください。

　 ＜担　　当＞　三重県こころの健康センター　技術指導課　中井

TEL　059-223-5243　　**FAX　059-223-5242**



**ＦＡＸ送信票**

こころの健康センター　技術指導課　行

０５９－２２３－５２４２

**精神保健福祉専門研修会 申込み**

WHO版　心理的応急処置

**「サイコロジカル・ファーストエイド（PFA）」を知る**

発信者氏名

所属

住所　　　　　　　　　　　市　・　町

電話

**＊ご参加いただける方は、以下にご記入の上、ファックス送信をお願いします。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| お名前 | 職種 | 備　考 |
|  |  |  |
|  |  |  |

\* お申込みは**平成28年1月6日（水）**までにお願いします。

　　◯ 研修受付完了のお知らせはいたしません。

　　◯ 締切日までに定員に達した場合は参加をお断りさせていただくことがあります。

　　◯ 今回いただいた個人情報は、当研修会への参加受付・緊急時の連絡以外の目的には使用いた

　　　 しません。

　　◯ やむを得ず開催を中止する場合は、三重県こころの健康センター　ホームページでお知らせ

 します。

**＊講師の先生に質問したいことがあればご記入ください。**